



# 最近の三重県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)

令和5年7月26日

東海財務局津財務事務所

## 1. 総論

### 【総括判断】「緩やかに持ち直している」

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）5年7月判断は、前回5年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部で調整する動きが続いているものの、全体ではおおむね横ばいとなっている。雇用情勢は、改善に向けた動きが続いている。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	一部で調整する動きが続いているものの、全体ではおおむね横ばいとなっている	一部で調整する動きが続いているものの、全体ではおおむね横ばいとなっている	→
雇用情勢	改善に向けた動きが続いている	改善に向けた動きが続いている	→
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	5年度は減益見込みとなっている	↘
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
企業倒産	件数は前年を上回っている	件数は前年を上回っている	→

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善に向かう下で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### 1. 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、価格高騰の影響がみられるものの、おおむね横ばいとなっている。

コンビニエンスストア販売は、客単価が上昇していることから、緩やかに持ち直している。

ドラッグストア販売は、調剤部門を中心に堅調となっている。

ホームセンター販売は、弱い動きが続いている。

家電大型専門店販売は、価格高騰の影響などから、弱い動きとなっている。

乗用車販売は、完成車の供給が正常化しつつあることから、緩やかに持ち直している。

主要観光施設の入込客は、持ち直している。

#### (主なヒアリング結果)

- コロナの5類移行もあり来店客数は増加しているものの、若者を中心に名古屋への顧客流出が進み、販売機会を逸している。特に衣料品が苦戦しており、人流回復は地方にとってメリットだけではない。  
(小売業、大企業)
- 価格上昇を受けて買い替え時期を先送りする動きがみられるほか、旅行や行楽への関心が高まるなかで、家電買い替えへの関心が弱まっている。  
(ショッピングセンター、大企業)
- 供給制約による影響で相変わらず納期が長い車種もあるが、総じて見ると安定的に納車が出来ており、受注残の解消が進んでいる。  
(自動車販売店、中小企業)
- 国内客を中心に観光客数はコロナ前に戻りつつあるものの、団体客が依然として少なく、お土産など一人当たり消費額が伸び悩んでいる。  
(経済団体)

### 2. 生産活動 「一部で調整する動きが続いているものの、全体ではおおむね横ばいとなっている」

電子部品・デバイスのうち、半導体集積回路（メモリ）は、需要の低下に伴い調整が続いていることから、弱い動きとなっている。液晶表示装置は、弱い動きとなっている。

輸送機械は、部品供給制約等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

石油化学は、海外需要を背景に弱含みとなっている。

汎用・生産用・業務用機械は、高水準の受注残を背景に、持ち直しが続いている。

電気機械は、持ち直しに向けた動きが続いている。

#### (主なヒアリング結果)

- 情報通信機器向け（スマホ、データセンタ、PC）の需要低迷が続いているため、需要動向に合わせて生産稼働率を調整している。在庫調整は徐々に進んでいるが、今後も不透明な状況が続くとみている。  
(電子部品・デバイス、大企業)
- 受注が堅調に推移する中、未だ部品供給制約の影響が残ることもあり、積みあがった受注残の解消にはまだまだ時間がかかる見込み。部品供給は次第に改善されていく見通しであり、今後、挽回していく。  
(輸送機械、大企業)
- 海外向けの需要が低調であることから、生産稼働率は例年ベースを下回る状況。先行きについても、当面現状のまま推移するとみている。  
(石油化学、大企業)
- 取引先工場のファクトリーオートメーション化需要を背景に受注残が積み上がっていることから、時間外労働や休日出勤で対応しており、高水準な生産稼働となっている。  
(電機機械、大企業)

### 3. 雇用情勢 「改善に向けた動きが続いている」

有効求人倍率はこのところやや低下しているものの、足下では新規求人数に持ち直しの動きがみられることなどから、改善に向けた動きが続いている。

(主なヒアリング結果)

- 転職活動が活発化しているからか退職者が増えている印象があり、補充のための採用を行っているものの、やや人手不足気味な状況。(化学、大企業)
- コロナ禍により低迷していた客室稼働率は復調したものの、人手不足が課題となっている。外国人の採用により人手を確保し、何とか稼働率を維持している状態。(宿泊業、中小企業)
- 足下ではコロナ 5 類移行などを背景に宿泊飲食業などで新規求人が増加しており、製造業の求人数も徐々に持ち直している。(労働局)

### 4. 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。

### 5. 企業収益 「5年度は減益見込みとなっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業は減益見込み、非製造業は増益見込みとなっている。

### 6. 企業の景況感 「『下降』超となっている」(全産業)「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超となっている。なお、先行きは、「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

### 7. 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数(後方3か月累計)の利用関係別(3か月累計)で見ると、貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲などが前年を下回ったことから、全体でも前年を下回っている。

### 8. 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額(後方6か月累計)で見ると、国、市町が前年を上回っているものの、県、独立行政法人等がそれぞれ前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

### 9. 企業倒産 「件数は前年を上回っている」

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 津財務事務所 財務課

Tel (059) 225-7222 (ダイヤル)

2. 県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ=<https://lfb.mof.go.jp/tokai/tu.htm>